

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-84	中学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15 三省堂	国語 015-82		現代の国語 2	

## 1 編修の基本方針

### 個別最適な学びと協働的な学びの実現

#### 主体的に学ぶ

学び方を習得し、見通しをもって自覚的に活用しながら、学びに向かう力を高めます。

#### 対話を通して学ぶ

他者との交流・共有を通して、多様な価値観が共生する社会で生きる力を高めます。

#### 深く学ぶ

知識・技能と思考力・判断力・表現力を確実に育成し、言語文化の担い手を育てます。

この教科書は、教育基本法に掲げられた目標及び学習指導要領の目標を達成するために、次の6点を基本方針として編修しました。

#### 主体的に学ぶ

1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

#### 対話を通して学ぶ

3 かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

#### 深く学ぶ

5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

**1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力**

- 「領域別教材一覧」に示した「つきたい力」や、各教材の冒頭に示した目標によって見通しをもち、自律的に学習を進め、振り返ることによって身につけた力の自覚と達成感、次の学びへの意欲が得られるように構成しました。
- 小学校からの接続に配慮し、基礎・基本を確実に習得する学習からスタートして、身につけた力を繰り返し活用しながら、無理なく段階的に国語の力を伸ばしていくことができるよう、系統的に構成しました。

**2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充**

- 多様な学習活動に活用できる「学び方」を身につけることを重視しています。
- 各学年のはじめには、基本となる「読み方」に焦点化して学習する「プレ教材」を設定しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材や「読むこと」教材の「学びの道しるべ」には、思考と語彙に関する解説を設けて、「知識・技能」の確実な習得を図り、豊かな活用への道筋を開いています。

**3 かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力**

- 対話・交流・共有によって学習を進めていくことを大切にしています。相手や目的などの条件を意識して的確に表現する力を育成できるようにしました。
- 考えの異なりを対話によって理解し合い、より創造的な合意を生み出すことができるような学習の流れを重視しています。

**4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり**

- 多様な考えをもつ他者とのかかわりによって、異なる意見を尊重しながら、自分のものの見方・考え方を拡充できるような学習活動や教材を設定しました。
- さまざまな価値観が並立するグローバル社会、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるよう、題材を選定し、単元を構成しました。

**5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ**

- 多くの知識を蓄え、技能を習得することとともに、それらを活用して「自分の考え」を形成することへと展開しています。
- 「何がわかり、できるようになったか」ととどまらず、「あなたはどのように考えるか」と繰り返し問い、自分自身にとっての切実な問題として学習が成立するように構成しました。
- 思考や表現によって「自分の考え」をつくり、対話を繰り返しながら自己認識と他者理解を深めていくことを目指しています。

**6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展**

- 社会生活の中で読書に親しみ、言語文化にふれて自らを豊かにする誘いとなるような教材を配列しました。
- 生涯にわたって本を読み続け、さまざまな言語文化にみずみずしい興味・関心をもち、その担い手となることを願って、学習活動や資料を設定しました。

## 2 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取り上げ、教科書の該当ページを示しました。

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色 *教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	該当箇所 (ページ)	
領域	文種など	教材名			
本編	読むこと	詩	名づけられた葉 (新川和江)	●人間個々の存在を「ポプラの葉」として捉え、何千何万の葉の一枚にすぎないけれど「誰のまねでもない」美しい生き方を求める詩人のものの見方に出会うことで、個の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	22～25
		小説	小さな手袋 (内海隆一郎)	●「シホ」と「おばあさん」とのせつなくも温かい交流を描いた教材を読むことを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと(第一号)、かけがえのない生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。	170～181
		小説	走れメロス (太宰治)	●友情と信頼をめぐる葛藤、克己、喜怒哀楽などの心の揺れや動きが描かれた作品を読むことを通して、人間や生き方についての真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとしています(第一号)。	208～225
		解説 短歌	短歌の世界 (俵万智) 短歌十首	●我が国固有の言語文化として愛され続けてきた短歌の世界にふれ、そのよさと価値を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	64～72
		論説	人間は他の星に住むことができるのか (渡部潤一)	●天文学者たちの探究を記した教材を読むことを通して、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことをねらいとしています(第一号)。 ●地球が人間にとって貴重な環境であることを論じる教材を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。	48～55
		報告	壁に残された伝言 (井上恭介)	●「被爆の伝言」が発見された経緯、後世の人々の思いや願いを描いたルポルタージュを読むことを通して、生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)、また、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	80～87
		論説	動物園でできること (奥山英登)	●動物園の役割について述べた文章を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。 ●動物園の飼育員の仕事に対する思いや考えにふれることで、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことをねらいとしています(第二号)。	190～199
			読み方を学ぼう	●読みの方略を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	36, 44, 73, 100, 134, 182, 200, 226
我が国の言語文化	古文	平家物語	●戦いの世に生きる者の非情と慈悲の間で揺れ動く心理を描いた作品を読むことを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに(第一号)、生命を尊ぶ態度を養うこと(第四号)をねらいとしています。	120～133	
	漢文	漢詩の世界	●漢詩を読み味わうことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	136～139	

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
話すこと・聞くこと	グループディスカッション	互いの考えを尊重しながら話し合いを深める	●情報を得る際の適切な手段について話し合うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	38～41
	プレゼンテーション	資料や機器を活用して効果的に発表する	●情報を集め整理し、プレゼンテーションする活動を仲間とともに進めていくことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	104～109
書くこと	手紙・メール	心をこめてわかりやすく書く	●相手や目的を意識して手紙やメールを書くことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	56～59
	投稿文	複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す	●水問題に関する考えを深めて投稿文を書くことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと(第四号)、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと(第五号)をねらいとしています。	158～160
資料編	◎幅広い知識を身につけ、自主および自律の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用できる実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号、第二号)。			255～ 折り込み
	読書の広場	小さな図書館	●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、47冊の本をテーマ別に紹介しています(第一号、第二号、第三号、第四号、第五号)。	256～261
		歌舞伎の世界 歌舞伎 外郎売	●日本が世界に誇る伝統芸能である歌舞伎の世界を楽しむことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	292～297
		日本文学名作集	●奈良時代から現代の小説に至るまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことを通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	298～301
	社会生活に生かす	著作権と引用	●著作権や引用の仕方に関する基礎的な知識を身につけることで、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	308～309
		質問の仕方	●質問を工夫して相互の理解を進め、コミュニケーションを活発にし、思考を深めることを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)	312～313
		話し合いの形式を選ぶ	●集団におけるさまざまなコミュニケーションの形式を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	314～315

### 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### すべての学習者が学習しやすい紙面づくり

- ユニバーサルデザインに配慮しています。特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。

#### 特別支援教育への配慮

- 各教材の冒頭に学習のねらいを提示し、学習活動の手順を丁寧に示しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど情報を整理し、わかりやすく、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなるよう工夫しました。
- 情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、わかりやすく、見やすくしています。
- 挿絵・図版を適所に配置し、学習者の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えています。各学年の「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、わかりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるように工夫しました。

#### カラーユニバーサルデザインへの対応

- 色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。
- 識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。
- 色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにしました。
- 識別しやすい色を追究し、古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。

#### 二次元コードコンテンツで個別最適な学びを支援

- 解説動画、朗読音声、漢字や文法のデジタルドリル、補充教材、ワークシート、参考資料等の豊富なコンテンツを参照先で提供し、学びを深めるとともに、個別最適な学びを支援しています。

#### 環境にやさしい教科書

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

#### その他の配慮事項

- 製本は堅牢で、十分な耐久性を備えています。
- 教材で使用している文字については、独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を開発して、画数や点画の方向等においても誤解が生じないようにしました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

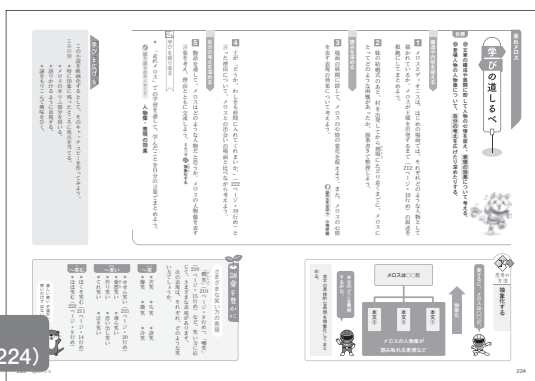
受理番号	学校	教科	種目	学年
105-84	中学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称		教科書の記号・番号		教科書名
15 三省堂		国語 015-82		現代の国語 2

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 主体的に学ぶ

#### 1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

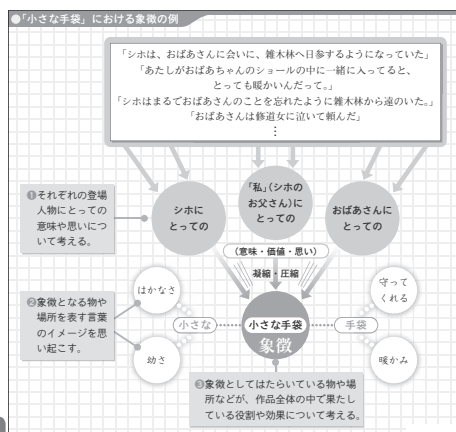
- 各教材冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けました。身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすしくみです。
- 学習指導要領の指導事項をふまえて学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に、確実に習得できるようにしました。「読むこと」教材の「学びの道しるべ」では、丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。



「走れメロス」の「学びの道しるべ」(p.224)

#### 2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

- 「読み方を学ぼう」では、「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用できる全22の方略を3学年に配置しています。
- 各方略は、「学びの道しるべ」の課題と関連づけて示しています。
- 巻末には、「『読み方を学ぼう』一覧」を示しました。



「読み方を学ぼう⑥ 象徴」(p.182)

#### ▶各教材での学習の流れ(例「読むこと」)

見通し

主体的・対話的で深い学び

振り返り

**ステップ1 目標の確認**  
目標を確かめて、学習の見通しをもちます。

**ステップ2 構造や内容を捉える**  
情報を整理・確認して、文章の構造や内容をつかみます。自学自習にも対応した課題を設定しています。

**ステップ3 読みを深める**  
文章を詳しく読み、対話を通して内容や構成・表現の仕方についての理解を深めます。

**ステップ4 自分の考えを深める**  
文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深めたり、広げたりします。

**ステップ5 学びを振り返る**  
自分の学習を振り返って評価し、これからの学習へ生かします。

**+α 学びを広げる**  
ステップ1~5までの学習を活用して取り組み、学びを更に広げたり、深めたりします。

#### ▶「読み方を学ぼう」の一覧

1年	2年	3年
① 説明文の基本構造	① 人物設定	① 回想
② 人物相関図	② 説明文の論理展開	② 批判的な読み
③ 行動描写	③ 想像	③ 省略
④ 三角ロジック	④ 図表と文章	④ 具体と抽象
⑤ 詩の表現技法	⑤ 物語の転換点	⑤ 状況・背景
⑥ 情景描写	⑥ 象徴	⑥ 反復
⑦ 要約	⑦ 例示	※網掛けは、折り込み形式で説明文の「読み方」を示したものです。
⑧ 語り手・視点	⑧ 心情把握	

- 言葉による見方・考え方をはたらかせ、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法を「思考の方法」として示しました。
- 3年間を通して、9種類の「思考の方法」をバランスよく配置し、各教材の学習活動の文脈にそって活用できるように図解を中心に示しました。
- 巻頭には、『「思考の方法」一覧』を示しました。
- 各教材の「語彙を豊かに」では、理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感を磨くために、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げました。

## 対話を通して学ぶ

### 3 かわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話を通して考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 第1単元には「グループディスカッション」を設け、話し合いを効果的にするための「コツ」を系統的に示しました。

### 4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

- 価値観が多様化するグローバル社会で求められる幅広い資質・能力の育成につながる題材を精選しました。

## 深く学ぶ

### 5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話を通して考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 全ての教材において、自分の考えを形成する学習過程を重視しています。
- 第6単元「情報を関係づける」では、図表・文章など多様な情報を関連づけながら、現代の課題について考える学習を設定しました。

### 6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

- 資料編の「読書の広場」には、多様なジャンルの5本の教材を配置しました。豊かな言語文化にふれるとともに、「読み方を学ぼう」で習得した方略を活用できる教材を掲載しています。
- 多くの教材に二次元コードを掲載し、参照先のウェブサイト上に、動画や音声、デジタルドリル、図解した読みの方略や、補充教材として使える資料などを豊富に掲載しています。

#### 「思考の方法」の一覧

思考の方法	対応するチャートの例
① 順序立てる	ステップチャート
② 比較する	比較チャート
③ 分類する	マトリックス(表)、Yチャート
④ 関連づける	イメージマップ、リンクチャート
⑤ 多角的に見る	バタフライチャート、フィッシュボーン
⑥ 理由づける	クラゲチャート
⑦ 具体化する	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑧ 抽象化する	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑨ 仮定する	キャンディチャート

「大阿蘇」の「思考の方法」と「語彙を豊かに」(p.166~167)

「グループディスカッション—互いの考えを尊重しながら話し合いを深める」(p.38)

「情報—情報を関係づける」(p.146)

## 2 対照表

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
1 豊かに想像する	詩	名づけられた葉 (新川和江)	●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。 ●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読イ 考えたことを伝え合う	22～25	2
	小説	セミロングホームルーム (戸森しるこ)	●読ア 全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 ●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。 [言語活動]読イ 考えたことを伝え合う	26～35	4
	読み方を学ぼう①	人物設定		36	
	言葉発見1	話し言葉と書き言葉	●言葉イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。	37	1
	話す・聞く	グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める	●話聞工 話し手の考えと比較しながら考えをまとめる。 ●話聞才 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 [言語活動]話聞イ 議論	38～41	4
2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう②	説明文の論理展開 宇宙に行くための素材 (白石紀子)	●読ア 全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉える。 ●読工 文章を比較し、構成や論理の展開、表現の効果について考える。 [言語活動]読ア 考えたことを説明する	44～47	1
	論説	人間は他の星に住むことができるのか (渡部潤一)		48～55	4
	書く	手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く	●書イ 段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ●書工 読み手の立場に立って文章を整える。 [言語活動]書イ 手紙・メール	56～59	4
	言葉発見2	言葉のはたらきとコミュニケーション	●言葉ア 相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。 ●言葉イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。	60～61	1
3 ものの見方・感性を養つ	解説	短歌の世界 (俵万智)	●読工 文章を比較し、構成や論理の展開、表現の効果について考える。	64～66	3
	コラム	音の数え方と句切れ	●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読イ 引用して解説する	67	
	短歌	短歌十首		68～72	
	読み方を学ぼう③	想像		73	
	書く	短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す	●書ウ 表現の効果を考えて描写するなど、考えが伝わる文章になるように工夫する。 ●書才 表現の工夫とその効果などについて、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 [言語活動]書ウ 創作	74～78	5
	文法の窓1	用言の活用	●言葉才 単語の活用について理解する。	79	3
	報告	壁に残された伝言 (井上恭介)	●読ア 全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉える。 ●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読ア 考えたことをまとめる	80～87	3
私の読書体験	生涯の友と出会う (小川洋子)	●読才 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読ウ 本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用する	88～89	1	
4 論理的に考える	論説	味は味覚だけでは決まらない (源河亨)	●読ウ 文章と図表などを結びつけ、内容を解釈する。 ●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読ア 考えたことをまとめる	92～99	4
	読み方を学ぼう④	図表と文章		100～101	
	言葉発見3	敬語の意味と種類	●言葉ア 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。 ●言葉カ 敬語のはたらきについて理解し、使う。	102～103	1
	話す・聞く	プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	●話聞イ 根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ●話聞ウ 資料や機器を用いるなどして表現を工夫する。 [言語活動]話聞ア 説明・提案	104～109	5



		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
5	古典に学ぶ	古文	枕草子・徒然草	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語文化ア 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>●言語文化イ 古典に表れたものの見方や考え方を知る。</li> <li>●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul> 【言語活動】読イ 考えたことを伝え合う	112～119	4
		古文	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語文化ア 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>●言語文化イ 古典に表れたものの見方や考え方を知る。</li> <li>●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。</li> </ul> 【言語活動】読イ 考えたことを伝え合う	120～133	5
		読み方を学ぼう⑤	物語の転換点		134	
	コラム	あの人の歌		135		
	漢文	漢詩の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語文化ア 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>●言語文化イ 古典に表れたものの見方や考え方を知る。</li> <li>●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。</li> </ul> 【言語活動】読イ 考えたことを伝え合う	136～139	3	
	漢文の読み方	漢詩の形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語文化ア 作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。</li> </ul>	140～141		
	漢字のしくみ1	熟語の構成・熟字訓	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉ウ 常用漢字(350字～450字)を読む。小学校で学んだ漢字を書き、使う。</li> <li>●言葉工 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul>	142～143	1	
6	情報を関係づける	解説	マンガ 情報の扱い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読ウ 文章と図表などを結びつけ、内容を解釈する。</li> </ul> 【言語活動】読ア 理解したことを説明する	146～147	1
		論説	一〇〇年後の水を守る (橋本淳司)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読イ 目的に応じて複数の情報を整理し内容を解釈する。</li> </ul> 【言語活動】読ア 考えたことをまとめる	148～153	2
		論説	飲み水は不足しているか (沖大幹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読イ 目的に応じて複数の情報を整理し内容を解釈する。</li> </ul> 【言語活動】読ア 考えたことをまとめる	154～155	
		図表	水問題に関する資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読ウ 文章と図表などを結びつけ、内容を解釈する。</li> </ul> 【言語活動】読ウ 考えたことを説明する	156～157	1
		書く	投稿文 複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書ア 多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。</li> <li>●書オ 表現の工夫とその効果などについて、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。</li> </ul> 【言語活動】書ア 投稿	158～160	5
		文法の窓2	助詞・助動詞のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉オ 助詞や助動詞などはたらき、文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深める。</li> </ul>	161	3
7	読みを深め合う	詩	大阿蘇 (三好達治)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。</li> <li>●読オ 自分の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul> 【言語活動】読イ 考えたことを伝え合う	164～167	2
		言葉発見4	類義語・対義語、多義語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉工 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して使う。</li> </ul>	168～169	1
		小説	小さな手袋 (内海隆一郎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読ア 全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。</li> <li>●読イ 登場人物の言動の意味などを考えて内容を解釈する。</li> </ul> 【言語活動】読イ 考えたことを伝え合う	170～181	4
		読み方を学ぼう⑥	象徴		182	
		書く	創作文 読みたくなるしくみを工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書イ 文章の構成や展開を工夫する。</li> <li>●書オ 表現の工夫とその効果などについて、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。</li> </ul> 【言語活動】書ウ 創作	183～186	5
		読書活動	ピブリオバトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●話聞ア 社会生活の中から話題を決める。</li> <li>●話聞イ 根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。</li> </ul> 【言語活動】話聞ア 提案	187	3

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数	
8	視野を広げる	論説	動物園でできること (奥山英登)	●読ア 全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉える。 ●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読ア 考えたことをまとめる	190～199	5
		読み方を学ぼう⑦	例示	[言語活動]読ア 考えたことをまとめる	200	
		書く	論説文 構成を工夫して考えを伝える	●書イ 段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ●書ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、考えが伝わる文章になるように工夫する。 [言語活動]書ア 意見	201～204	6
		漢字のしくみ2	熟語の読み	●言葉ウ 常用漢字(350字～450字)を読む。小学校で学んだ漢字を書き、使う。 ●言葉工 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、同音異義語などについて理解して使い、語感を磨き語彙を豊かにする。	205	1
9	振り返って見つめる	小説	走れメロス(太宰治)	●読工 構成や論理の展開、表現の効果について考える。 ●読才 自分の考えを広げたり深めたりする。 [言語活動]読イ 考えたことを伝え合う	208～225	5
		読み方を学ぼう⑧	心情把握		226	
		コラム	「走れメロス」とシラーの「人質」		227	
			太宰治の世界		228	
		話す・聞く	情報誌 地域の魅力を振り返って	●話聞ア 異なる立場や考えを想定しながら、伝え合う内容を検討する。 [言語活動]話聞イ 取材・編集会議	230～235	3
		書く		●書工 読み手の立場に立って文章を整える。 [言語活動]書ア 編集		5
	歌の言葉	宿命([歌]Official髭男dism)		236～237	—	
資料編	読書の広場		文法のまとめ	●言葉才 単語の活用、助詞や助動詞などはたらき、文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深める。	238～254	—
			小さな図書館	◎幅広い読書への誘いを示し、学んだことを活用する場を用意するとともに、読書に親しむ態度の育成を図っている。	256～261	適宜
			日本十進分類法／本の構造		262～263	
		小説	青いインク(吉田篤弘)		264～273	
		小説	形(菊池寛)		274～276	
		論説	水田のしくみを探る(岡崎稔)		277～280	
		論説	金継ぎの美と心(清川廣樹)		281～285	
		古文	那須与一―「平家物語」より		286～291	
			歌舞伎の世界		292～293	
			歌舞伎 外郎売		294～297	
		日本文学名作集		298～301		
		小倉百人一首		302～307		
	社会生活に生かす		著作権と引用	◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や、他教科の学習、日常生活・社会生活における言語活動を支える学びの方法を整理し、国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成や、伝え合う力を高めることを図っている。	308～309	適宜
			メモを活用する		310～311	
			質問の仕方		312～313	
			話し合いの形式を選ぶ		314～315	
			辞典を活用する		316～317	
			手紙・はがき・メールの書き方		318～319	
			原稿用紙の使い方・推敲の仕方		320～321	
			読書感想文の書き方		322～323	
参考資料		学習用語辞典	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理して示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度の育成を図っている。	324～329	適宜	
		語彙の広がり		330～331		
		二年生で学ぶ漢字字典		332～341		
		二年生で学ぶ音訓		342		
		小学校六年生で学習した漢字		343		
		常用漢字表音訓一覧		344～356		
		常用漢字表付表		357		
		二次元コード参照先コンテンツ一覧		358～359		
		「読み方を学ぼう」一覧		折込		

※漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」は、年間を通してバランスよく学習できるよう、各単元に年間9箇所(各1時間)配置した。